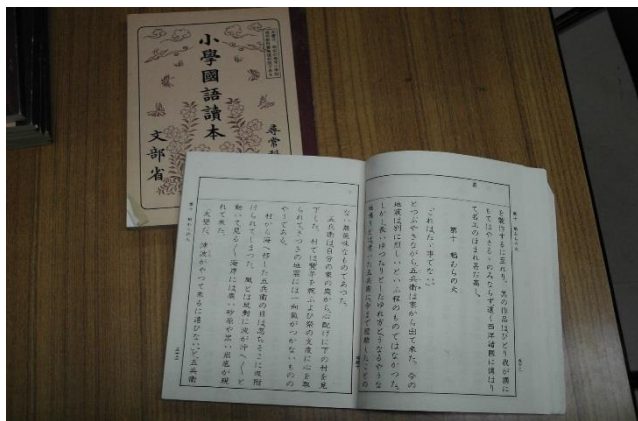




## 今、稲むらの火は

「今、稲むらの火は」という題名をつけて、本当に今、稲むらの火が皆様からどのように見られているのか、どのような役割を期待されているのかを、考えてみます。これまでも、「稲むらの火」という話は津波防災の教材として、非常に有益なものだと言われてきました。それは、かつて昭和12年から22年までの間、小学校の5年生の国語の教科書に載った時から、そう言われていたのです。あの頃、この教科書で勉強した人は今は77歳から88歳くらいの方々でしょうか。それくらいの人々は、思い出に残っていると言われます。



それでは、現代の人々はどうでしょうか。10年程前までは、津波というものはあまり分らなかったと思います。確かに、昭和21年の南海地震・津波を経験した方は知っていたのですが、それ以後に生まれた方は、話を聞くだけだったのかもしれませんが。おそらく、世界中のほとんどの人は、平成16年12月に起こったスマトラ沖地震・インド洋津波ではじめて映像で津波を見たのではなかったでしょうか。そして、4年前、3月11日本当に予想もしなかった東日本大震災の大津波が起りました。

あれ以来、「稲むらの火の館」には津波防災に関心を持った人々が大勢来られました。次の津波に備えての最悪の場合の想定も9～10mと厳しくなりました。しかし、この関心はもっと持続してください。その時に備えてください。

## ご存じですか



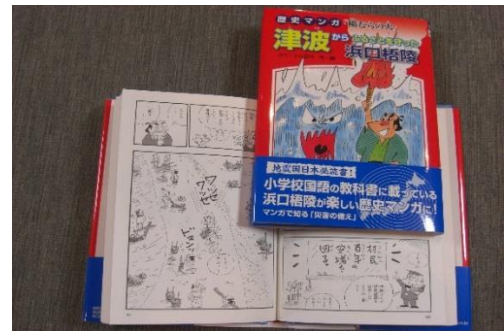
広川町が認定している団体(町から補助金を受けている団体)は一年に一回は「稲むらの火の館」に無料で入館できます。そして、防災教育に役立てていただけます。この制度を活用して防災を考えてみませんか。



## 販売コーナーに新しい本



館内の書籍販売コーナーに新しい本が入りました。クニ・トシロウ(作・画)の「歴史マンガ『稲むらの火』津波からふるさとを守った浜口梧陵」という本です。1,404円(税込)です。子どもの防災教育の参考書にいかがですか。



## <お客様の声>

- 1、三重から来たものですから、ちょっと寄ってみようと思って。(三重県女性)
- 2、この前来た時、すばらしかったから、孫たちも連れて来たいです。  
(おばあちゃん)
- 3、梧陵さんは日本の鏡です。こんな立派な人が居たとは知りませんでした。もっと、日本中の人に知ってもらいたい。  
(大阪能勢町の民生委員)

## 耐久社記念館に就いて (5)

濱口 恵璋

9

「皇清経解」は清の阮元が門人嚴杰等と共に編輯したもので清朝時代に盛んに行はれた考証学の研究には欠くべからざる必要な書である。正編が三百六十冊、百九十部千四百十七巻、なお検目二巻で、続編は清の壬先権が編輯したもので、三百二十冊、二百九部千四百三十巻、合計六百八十二冊、三百九十九部二千八百四十七巻もある大部なものであるが、耐久高等学校の方から送附せられた目録によると三百九冊となつてあるから半数にも足らぬもので勿論完本ではないが、どれどれが不足して居たかまだ検べて居らないので委しいことは分からぬ。



清朝初期に於ける顧炎武、間若琢、毛奇齡などより初め近くは清末に於ける魏源、愈樾等に至るまで百七十余人の中国学者達の叢書である。元來考証学と云うのは、宋明時代に起つた程朱隋壬の学風が、高妙な理論に馳せて、聖賢の實際から遠ざかつて徒らに古義を没却するに反対して起つたもので訓話学、音韻学、金石学、雑家、校勘学などと分れ、いづれも科学的に研討するようになったもので、佚書の蒐輯校勘等も盛んに行はれることとなつたので、ある明治四十年頃に日本に來た燉煌学の大家羅振玉氏の如きも或意味に於けるこの学の大家であつた。そは兎も角こんな有要な書を購求せられ

た容所氏もえらければ惜気もなく之を寄贈せられた容所氏もえらければ惜気もなく之を寄贈せられた無悶居士もまたえらいと云はねばならぬ。然るに之を利用することが出来ず衣魚虫の巢にして置くことは惜しみても余りあることで之を先賢を追憶すべき記念館に備へつけて、先賢を追憶するよすがとすることは、まことに意味のあることである。

京都の近郊である修学院なる一条寺村の詩仙堂に至れば、むかし石川丈山が棲んで居た居室を其儘に保存し、丈山が撰んだ先賢三十六人の肖像を楣間に掲げ、丈山が用ひた机案、脇卓なども其まゝに置き、その遺墨遺書などを陳列して、さながら生前の當時を偲ばしむるよう

\*\*\*\*\*



### 新しい案内板ができました



「稲むらの火の館」「濱口梧陵史跡」の案内板ができました。英語の表記も追加されたため、外国人のお客様にも分かりやすくなりました。



#### <稲むらの火の館の紹介>

濱口梧陵記念館／津波防災教育センター  
〒643-0071 住所 広川町広671  
Tel : 0737-64-1760 / FAX : 0737-64-1761  
http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamurano-hi/  
\*開館時間：午前10時～午後5時（受付終了4時）  
\*休館日：月曜日・火曜日（祝日開館）  
年末年始（12/29～1/4）  
\*記念館だけの入場は無料です。

